

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第3回 瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
開催日時	平成22年3月29日(月) 13時30分～14時20分
開催場所	高松市役所 13階大会議室
議 題	(1)瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン(案)について (2)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西秀人, 副会長 大橋光政, 岡田好平委員, 太田和博委員, 坂下一朗委員, 中村勝利委員, 石原収委員, 古市 弘委員, 濱田孝夫委員, 中野善正委員, 藤井賢委員, 村瀬秀則委員
傍聴者	0人 (定員 10人)
担当課および連絡先	企画課 (839-2135)

会議経過および会議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

- (1) 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン(案)について
次の議題について協議し、下記の結果となった。
瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン(案)について、事務局より説明を行いました。

(会長)

事務局から瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン(案)につきまして、説明がありました。御質問、御意見等ございましたら、御発言をお願いしたいと思います。

(委員)

取組で、医療機関の整備推進等でお聞きしたい。新病院の整備計画について、教えてほしい。また、観光の振興において、観光プロモーション事業、特産品の周知宣伝にどのように取り組んでいくのかお聞きしたい。

(会長)

新病院の整備計画については、仏生山の県の農業試験場跡地に市民病院と香川病院と統合した新病院を整備する予定です。平成22年度から基本設計にとりかかり、順調にいけば本市の中核病院として平成26年度開院予定です。

(事務局)

観光プロモーション事業については、対象となる事業を連携する町にまで広げて実施し、特産品の周知宣伝については中心市街地における直売所を活用して、事業に取り組むこととしています。

(委員)

定住自立圏の取組は平成22年度でどれくらいの事業費になりますか。

会議経過および会議結果

(事務局)

平成22年度の事業費総額はおよそ29億円となっております。高松市がおよそ21億円、5町分がおよそ8億円となっております。ただし、受託する事務事業もありますので、高松市の平成22年度の瀬戸・高松広域定住自立圏事業の予算総額はおよそ26億円となっております。

(副会長)

救急艇を高松市の島しょ部に配備する予定だが、今後、瀬戸・高松広域定住自立圏で活用する考えはありますか。

(会長)

救急艇の配備については、瀬戸・高松広域定住自立圏の連携する取組としてふさわしいものと考えておりますので、各町と協議、検討してまいりたいと思います。

(2) その他について

次の議題について協議し、下記の結果となった。

全国の定住自立圏構想の状況について・・・事務局より説明

(会長)

事務局から全国の定住自立圏構想の状況について、説明がありましたが、御意見、御質問がありましたら、御発言をお願いします。

(会長)

特に無いようですので、先ほど、事務局から説明しましたとおり、平成22年度から瀬戸・高松広域定住自立圏の具体の事業が実施されます。また、新たな連携する取組等についても、協議、検討したいと考えておりますので、今後とも、皆様方の御尽力・御協力よろしく申し上げます。

それでは、第3回の瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会はこれを以って終了させていただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。